平成28年度 企画部防災担当部長の目標宣言 達成状況報告

企画部防災担当部長 高梨 芳房

	The 4D 7			T= /(1 / ± E)	
NO.	取組名	取 組 内 容	達成目標	取組結果	目標達成状況
	(担当課名)			今後の取組の方向性	
1	市民の防災意識の普及啓発	・児童、生徒を対象とした防災教室を開催します。		[防災講座等への参加者数]	[実績値]
	(防災課)	・平成26年度に作成した「防災ガイドブック」を活用し、防災	・防災講座等への参加者数	学校、自治会、企業、各種団体等広く呼びかけ、防災教室	自治会、企業、各種団体等
		講座等を通じて、防災知識の啓発を図ります。	500名	防災講座を開催しました。	を対象に防災講演会、女性セミ
		・女性の視点を取り入れた防災対策の促進に努めます。		[今後の取組の方向性]	ナーを開催した。44団体で実
				引き続き、児童や生徒、女性、高齢者、障害者、子育て世代	
				などを対象に防災意識の啓発に努めます。	東日本大震災の被災者による
					防災講演会を開催。(12/18)
2	地域防災力の充実・強化	・災害時における防災行動について、地域の実情に応じた	[目標值]	・地域の防災リーダーを養成するための研修会を4回開催	[実績値]
	(防災課)	防災訓練を実施します。	・自主防災会が主催する防災訓練実施組織	しました。	各自主防災会が主催する防災
		・地域の防災リーダー育成のための研修会を実施します。	数	・大山地区防災訓練と合わせて、観光客・帰宅困難者対策	訓練実施組織数
		・自主防災会が実施する訓練を支援します。	102 自主防災組織	訓練を実施。関係機関との連携を確認しました。	
				[今後の取組の方向性]	72 自主防災組織
				・地域の実情に応じた様々な防災訓練を継続的に実施する	
				ことで、地域防災力の強化を図ります。	自主防災リーダーの養成数
				・自主防災会の活性化を図るため、自主防災リーダー養成	のべ627人
				研修会の充実を図ります。	
3	総合防災訓練の充実	・地域防災計画に基づき、市、市民、防災関係機関、協定	[目標值]	平成28年8月28日に、平成28年熊本地震の発生を踏ま	[実績値]
	(防災課)	事業者等が、連携協力し、総合的な防災力強化を目的とし	・訓練への市民参加を促進します。	え、伊勢原断層地震の発生を想定した総合防災訓練を実施	大山地区を除く、97の自主防
		て、大規模地震時の避難行動、応急対策活動について訓	・昨年度に引き続き、全地区を対象に一斉	しました。	災会ほか、27の防災関係機関
		練を実施します。	参加の訓練を実施します。	[今後の取組の方向性]	等の参加。
				・切迫性が指摘されている大規模地震の発生を想定した避	参加者数:約5,400名
				難行動、応急対策活動訓練などさらなる災害対応力の向上	大山地区防災訓練(29.1.22)
				を図るため、総合防災訓練を実施します。	参加者数:約 400 名
4	災害時の連携協力協定の推	・災害発生時の避難場所の確保や災害対応など、大規模	[目標值]	・災害時における一般廃棄物の収集運搬等に関する	[実績値]
	進	災害時の公的支援を補完する力として、事業者との協力協	・災害廃棄物処理などの協力協定を進めま	協定締結 6社	民間事業所との協力協定の拡
	(防災課)	定の締結を進めます。	す。	・災害時における応急対策活動用資機材等の確保に関する	大 7協定
		・同時被災をしない県外自治体との防災協定の締結を目	・同時被災をしない県外自治体との防災協	協定締結 チガサキレンタル(株)	
		指します。	定の締結	・災害時における食料の供給に関する協定締結	県外自治体との防災協定の
				濱田精麦(株) ほか自販機による協定4件	締結 2自治体
				・災害時における相互応援協定の締結	
				埼玉県東松山市 岡山県総社市	
				[今後の取組の方向性]	
				さらに、拡大に努めます	

NO	取組名(担当課名)	取 組 内 容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
5	業務継続計画の点検・見直	・災害時応急対策業務、非常時優先業務が円滑に実施で	[目標值]	総合防災訓練を通じて、応急対策活動業務を確認する	[実績値]
	L	きるよう、業務継続計画の点検・見直しを実施します。	・昨年度作成した非常時優先業務対応マニ	とともに、非常時優先業務対応マニュアル等の点検・見直し	・災害時における動員配備計画
	(防災課)		ュアルについて、点検・見直しを行います。	を行いました。	を踏まえ、非常時優先業務につ
				[今後の取組の方向性]	いて、点検・見直しを行いまし
				業務継続計画の実効性を高めるために、継続的に非常時	た。
				優先業務の点検・見直しを行ってまいります。	
6	土砂災害·浸水被害避難体	・平成 27 年度に指定された土砂災害警戒区域の警戒避	[目標值]	土砂災害防止月間に合わせて、新たに土砂災害警戒区域	[実績値]
	制の充実	難体制の充実を図るため、防災訓練を実施します。	・土砂災害防止月間に合わせて、土砂災害	に指定された成瀬地区で避難訓練を実施し、危険箇所や	・土砂災害警戒区域に係る
	(防災課)		警戒区域に係る防災訓練を実施します。	避難経路、避難場所の確認を行いました。(6/5)	警戒避難体制の確保のため
			(対象:成瀬地区)	[今後の取組の方向性]	土砂災害対策訓練を実施しまし
				定期的なパトロールの実施やハザードマップを活用して、警戒	た。(成瀬地区で実施:約200
				区域に係る地域住民に対する警戒避難体制の充実に努めま	名参加)
				す。	・関係機関の協力を得て、土砂
					災害警戒区域内のパトロールを
					実施しました。(大山・高部屋)
					・関係機関の協力を得て、急傾
					斜地崩壊危険箇所のパトロール
					を実施しました。(大山・高部屋・
					成瀬)